

前橋市社会福祉審議会 第2回高齢者福祉専門分科会 議事録

- ◆ 日 時 令和4年11月24日(木) 午後1時30分～午後3時
- ◆ 開催方法 オンライン ※参集による参加も可
- ◆ 事務局及び参集場所 前橋市役所3階 O Aルーム
- ◆ <出席者> 10人(敬称略)
 - 委員：◎牛久保美津子 (群馬大学大学院)
 - 松浦恵 (群馬司法書士会)
 - 岩井丈幸 (前橋市医師会)
 - 西野郁生 (前橋市歯科医師会)
 - 矢嶋美恵子 (群馬県看護協会)
 - 小林建夫 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)
 - 黒澤瑞樹 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)
 - 野中和英 (群馬県介護支援専門員協会 前橋支部)
 - 武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協会)
 - 三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)
- <欠席者> 4人
 - 長谷川亮輔 (群馬弁護士会)
 - 石井順子 (前橋市社会福祉協議会)
 - 後閑千代壽 (前橋市老人クラブ連合会)
 - 桑原英真 (群馬県老人保健施設協会)
- ◎=分科会長 ○=職務代理者
- <傍聴者> 0人
- ◆ 次 第
 - 1 開会
 - 2 あいさつ
 - 3 議事
 - 《報告事項》
 - (1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について
 - ① 介護保険事業の状況【資料1、1-2】
 - ② 目標への取組状況【資料2】
 - (2) 第9期まえばしスマイルプラン策定までのスケジュールについて【資料3-1、3-2、3-3】
 - (3) その他
 - ① 特別養護老人ホーム入所申込状況調査の結果【追加配付資料Ⅰ】
 - ② ひとり暮らし高齢者調査の結果【追加配付資料Ⅱ】
 - 4 その他
 - 5 閉会
- ◆ その他配付資料 ・【当日配付資料】事前意見取りまとめ表

1 開 会

信澤長寿包括ケア課長

- ・委員 14人中 10人の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告

2 あいさつ

(牛久保会長) 事務局からの委員皆様への意向確認後、初めてのオンライン会議となった。現在、新型コロナウイルスの第8波が蔓延しつつあり、良いタイミングだったかと思う。初めての試みで予測できないこともあるかもしれないが、皆様には活発な意見を願いたい。

3 自己紹介

4 議 事

(1) 第8期まえばしスマイルプランの取組状況について

① 介護保険事業の状況

- ・【資料1、1-2】、【当日配付資料】に基づき事務局から説明
- <質疑等>
- ※特になし

② 目標への取組状況

- ・【資料2】、【当日配付資料】に基づき事務局から説明
- <質疑等>

(牛久保会長) 認知症見守りキーホルダーをご存じの委員は挙手して欲しい。

(牛久保会長) ほとんどの委員がご存じないので一層の周知が必要だと思う。

(事務局) 旧事業の静脈認証登録制度からの移行者がほとんどなので、機会を捉えて周知を促進したい。

(牛久保会長) 生活管理指導短期宿泊は受入施設が少ないとあるが、どのくらいの数か。

(事務局) 主に市内2つある養護老人ホームで受け入れている。その後、介護施設に移るか、ご自宅に戻るかの見極めをする事業となっている。

(牛久保会長) 毎年度変更している認知症ケアパスの変更内容はどのようなものか。

(事務局) 認知症施策の変更は特段無く、主に協力していただく医療機関の一覧の変更。

(三俣委員) 介護基盤整備について、特別養護老人ホームの待機者が減っており、利用者確保が難しくなっている。地域密着サービス事業所も含めて施設数が適正なのか、また施設間で介護職員の取り合いになることなく、きちんとしたケアができるようにしていただきたい。

(事務局) この後の特別養護老人ホーム入所申込状況調査の結果でも説明するが、待機者数は年々減少している。これは全国的な傾向で、例えば、現在、有料老人ホーム等に入所しており、環境を変えられず入所を見送るケースがある。

老人福祉施設協議会からも施設整備はよく見極めて欲しいと意見が出ている。群馬県の方針を受けて、前橋市では第8期計画の中に新設については行わないことにしている。

第9期計画でも有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の動向を確認し、慎重に見極めてまいりたい。

(2) 第9期まえばしスマイルプラン策定までのスケジュールについて

・【資料3-1、3-2、3-3】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(牛久保会長) 臨時委員公募の周知はどのように行うのか。

(事務局) 市広報、市ホームページへの掲載と、市有施設へのチラシの設置を考えている。

(牛久保会長) 前回は何人だったか。

(事務局) 前回は2人。

(牛久保会長) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の対象者5,000人は65歳以上の何パーセントにあたるのか。

(事務局) 65歳以上を98,000人と考えると約5%となるが、圏域ごとに概ね300人ずつ無作為で選ばせていただく。

(牛久保会長) 回答はどのような方法によるのか。

(事務局) 同封の返信用封筒による郵送か、調査票にあるQRコードを読み取って電子申請をすることも可能。

(野中委員) 在宅介護実態調査はどうか。介護支援専門員に問い合わせがあることがある。

(事務局) 認定調査員が介護認定調査の際に介護をされる方等の立会者に調査票を渡し、返信用封筒で返信していただく。立会者に調査の趣旨を十分に説明したい。

(3) その他

① 特別養護老人ホーム入所申込状況調査の結果

・【追加配付資料Ⅰ】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(牛久保会長) 年々、待機者は減っているとのことだが、次回はいつ行うのか。

(事務局) 毎年度同時期に行っている。

② ひとり暮らし高齢者調査の結果

・【追加配付資料Ⅱ】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(牛久保会長) 聴き取りによる調査か。

(事務局) 民生委員の方に協力していただき、個別訪問し、対面で行っている。

(牛久保会長) 調査拒否される方も多くいるようだが。

(事務局) ひとり暮らしでも健康で支援の必要はないと考えている人は、調査を拒否されることもあると聞いている。

(小林委員) 実際に民生委員として協力したが、生活に投げやりになっている方など気になった人がいた。民生委員だけでは手が回らない。どうすればいいか。

(事務局) 民生委員から情報提供をいただければ、地域包括支援センターや長寿包括ケア課の専門職などが関係機関と連携して対応を検討できる。

(武井委員) 地域によって差がある理由はあるのか。

(事務局) 母数となる70歳以上人口が地域によって異なるため割合で考えるとあまり差は無いが、旧市部は高齢化率が高いため若干割合が高くなっている。

5 その他

(矢嶋委員) どのような事業も広報が大事だと感じた。

(黒澤委員) 当日配付となった「事前意見取りまとめ表」を事前に配付してもらえれば、もっと多く意見を出せたかと思う。

(武井委員) 新型コロナウイルス感染拡大により介護サービスが止まってしまうと利用者が苦しむことになるため、何か対策を見つける必要があると感じている。

< 次回の開催について >

(事務局) 次回は令和5年3月下旬開催予定。開催方法も含めて詳細は後日お知らせする。

また、来年度は第9期まえばしスマイルプランの策定年度となるため、会議を4回程度予定している。

6 閉会

(小坂福祉部長) 本日は多くの貴重な意見をいただき感謝申し上げます。これまで新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催が続いたが、本日のようなオンライン形式での開催だと、その場で気づいたこと、他の人の意見を聴いて感じたことを発言できて良い方法ではないかと思っている。今後も書面やオンラインによる開催が続くと思うがご協力をお願いしたい。また、来年度は3年に1度の第9期計画の策定年度のため、会議開催数が多くなるが、引き続き、お力添えをお願いしたい。

以上